

低学年の子どもと話をするとともに、自分がしゃがんで目の高さを同じようにすることができる高学年の子どもがいます。誰かにそうしなさいと言われたわけではないでしょうが、自然にそういう行動ができるようです。実に微笑ましい光景です。これも思いやりの気持ちを持った行動と言えるでしょう。

昨年度の発表会で2年生が「ともだちっていいな」を歌いました。その中に、「目と目が合うだけで 何でもわかるのさ」という歌詞があります。友だち同士、そしてときには子どもと教員の間にもそれは当てはまります。子どもは自分が相手に見下ろされていると感じるときは、心を開くことはできず、少し身構えてしまうことがあります。子どもが安心して話を聞いたり自分の気持ちを伝えたりするためにこのような配慮は大切であると考えます。

【危なっかしい子】

歩行者用の信号が既に点滅を始めているのにそれを確かめてから走って横断歩道を渡ろうとする子、自分のまわりから「危ないよ」という声が聞こえてきてもそれが気にならない子、校舎内でまわりに気を配ることができず狭い場所でも走ってしまう子など、「気をつけないと大変なことになるな」とこちらが思うような子がいます。こういう子はごく少数ではあるのですが、私たち教員には実に大きな存在となっているのです。

当然のことながら、そういう子にはその場その場で話をしたり、注意をしたりします。しかし、その効果は少なく、何度も同じようなことを繰り返してしまいます。なぜなのでしょう。実はそういう子と話をしているときに目と目が合っていないと感じることがあるのです。こちらの言うことを聞きながら「はい」と言える子でも、なぜかそれを次に活かすことができません。

ここで、「危なっかしい子」を「落ち着きの無い子」と言い換えてしまうのは少し乱暴かもしれませんが、私が見る限りではかなりの共通部分があるように思われますので、あえてそうさせてもらいます。「落ち着きが無い」というのは子どもの特権のような気もするのですが、だからと言ってそれをよしとすることはできません。

落ち着きのある子は、自分が取り組むことがらに“つながり”というものを感じることができているようです。横断歩道を渡ろうとしたときに、信号が点滅していれば、「無理をして横断すると危険であり、ここで信号が変わるのを待っても1分もかからない。そのあとで普通に歩けば電車にも間に合う。」というところまで考えることができるでしょう。しかし、そうでない子は、点滅している信号を見たときに、「渡る・渡らない」の2つの選択肢から1つを選ぶことが精一杯なのかもしれません。これでは自分の身を守るためにどうしたらよいかまで考えることはできないでしょう。他の場面においても、同様のことが当てはまるように思います。小さなことからでもいいですから、自分で考えそして判断するという習慣を身につけさせるように周りの大人たちが配慮していく必要があると考えます。

【携帯電話・・・親子のコミュニケーション？】

携帯電話について取り上げるのはしばらくやめようと考えていたのですが、5月1日の新聞記事に「あなたの安心」というテーマで「子どものケータイ」という記事があったので、それを紹介しながら私なりに疑問に思うことを書きたくなってしまいました。

小学生に携帯電話を持たせるメリットは「親子で連絡をとるのに便利」。

進学塾に通わせていると帰りが夜遅くなってしまうので持たせている。「安全のための道具」というより、「親が安心するための道具」だとのこと。

携帯電話を持つことで、息子とのコミュニケーションが増えました。「テストの点数が悪かった」など面と向かって言いにくいことはメールしてくる。

留守中は自宅の固定電話が鳴っても、出ないように言い聞かせている。

娘は何かトラブルがあった時、冷静に対応できない性格なので、携帯を持たせることで私も安心ですし、本人にとってもお守りになります。

これが新聞にあった「携帯持たせる派」の親たちの意見でした。この意見には少なからず「なるほど」と頷くことができそうな部分もあります。しかし、何か違うのではないのでしょうか。特に3番目の考えについては、今まさにこういう傾向が強くなっていることが、大きな問題になりつつあるのではないかと思うのです。メールなら相手の目を見て話す必要がなく、一方的に自分の気持ちを発信することができます。言いたいことを文字に表して送信ボタンを押すだけです。これで子どもとコミュニケーションが増えたと思いついてよいのでしょうか。また、こういうメールを相手に送りつけることで、問題を一件落着とすることができると思うような人ばかりになったらどういう社会になってしまうのでしょうか。こういう子どもたちに、学校ではコミュニケーション力をつけさせるための工夫をあれこれしているのです。もし電話がなかったらと考えることは現実的ではありませんが、気持ちの上ではそのくらいの覚悟で人と接していきたいものです。

グループ討論会のお知らせ（参加希望者はメール、電話、連絡帳などでご連絡ください。）

5月22日（火） 10：30～12：00 テーマ「親子のコミュニケーションについて」